

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



すべての災害は
防ぐことができる

★昨年度の損害賠償事故から★

1. 事故の概要（就業中）

個人宅の畑で、刈払機にて除草作業中、横を通り過ぎた他の会員の左手首に刈払機の刃（チップソー）が当たり負傷、救急搬送された。

草丈が2m程あり見通しが悪く、また、刈草の片付けをしやすいように中程と根元を2段階で刈っており、無理な姿勢で中程を刈っていた。

診断の結果、左手首の筋と神経を切断しており、入院し応急処置の後、手術を2回受け、リハビリを実施。左手の指の動き、握力、血行に後遺障害が残った。

2. 事故の原因

見通しが悪く、刈払機の騒音があり、かつ作業に集中していたことから、他の会員が近づいてくるのに気付かなかった。また、負傷した会員も、刈払機使用者に気付かず、安易に近づいた。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

除草班会議の中で事故内容を報告し、注意喚起を行った。

会報に事故内容を掲載し、全会員へ注意喚起を行った。

安全・適正就業委員会にて再発防止策を検討した。

【センターの再発防止策】

除草作業中に作業員同士がむやみに近づかないように、作業場所を飛散防止ネットを用いて区分けし、十分な離隔を保ち接近しないよう改善した。

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

各センターへ事故内容を周知し、注意喚起を行った。

除草や剪定等、刃物を使用する作業においては、他の作業者との離隔を保つよう、パトロール等を通じ指導している。

4. 全シ協から

今月は、昨年度の損害賠償の事故から掲載させていただきました。

刈払機は、鋭利な刈刃がついており高速で回転するため、慎重に取り扱わなくてはなりません。使う際に主に、①作業に適した服装（安全帽、履物、服装、手袋、保護めがねなど）、②作業をする際、地面の異物や障害物、小石（飛散防護ネットなどの設置）を除去し、危険な所には、コーンを置くなどして目印にする。③回転する刈刃が障害物や地面に当たって跳ね返る

キックバックに注意、④15m～20m程度人を近づけない。⑤各 부품の点検、⑥刈払機の講習会の受講などに十分注意することが必要です。確保できないのであれば延期、仕事を請け負わないでください。

今年度において、公園の草刈作業中、ジャングルジムの傍らで作業していたところジャングルジムで遊んでいた子供が落ちてきて刈払機の刃が接触した事故が起きています。

また、令和2年度において1件当たり20万円以上の事故の件数は514件で、そのうち、毎年、突出している事故は除草、除草剤散布、草刈の仕事が363件であり、事故の70.62%を占めています。特に飛び石や埋蔵物の切断が多く、それは注意次第で発生を防ぐことができる事故です。地域からの信頼を失うことにもつながりかねないものであり、飛散防止ネット等の設置などの安全対策の徹底を図り、事故の撲滅に取り組んでください。さらに、賠償保険金の支払いが多額になると、契約が結べなくなる可能性がありますので、万全な安全対策をお願いいたします。安全、安心して就業できる環境を確立していただきますよう各センターで今一度、取組の現状（ルールなど）を再確認し必要な対応をお願いいたします。

令和3年11月（令和3年度）事故速報

（1）重篤事故

11月は、2件の重篤事故報告がありました。11月までの累計で比較してみると、令和2年度の26件と比べて令和3年度は16件と10件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の19件と比して10件と9件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の7件と比して6件と1件の減少となっています。

11月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	10(1)	7(1)	3(0)	10(1)	0(0)	就業中	19	9	10	19	0	
就業途上	6(1)	3(1)	3(0)	4(1)	2(0)	就業途上	7	6	1	3	4	
計	16(2)	10(2)	6(0)	14(2)	2(0)	計	26	15	11	22	4	

前年度比 60.9% ()は、当月報告分です。

11月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
15	男 74歳	就業途上 (死亡)	就業報告書を提出した帰り道、歩道を自転車で運転中に車道に転倒し、そこを通りかかった車両に轢かれた。	—	—	自転車

16	男 85 歳	就業者 (死亡)	倒れた木（高さ17m）、根元の直径約60cmのカシで、別の作業員が木を切断し、木に掛けたロープを引っ張ったところ下敷きになった。復部内の出血による死亡。	○	×	—
----	--------------	-------------	--	---	---	---

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

11月は、就業中の事故13件、就業途上の事故8件と、合計21件であり、昨年度同月の17件と比して4件の増加となっています。また、男女別では、男性は1件の減少となっており、女性は5件の増加となっています。

11月までの累計で比較してみると、昨年度の165件と比して、本年度は157件と8件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は117件で6件の減少となっており、就業途上は40件で2件の減少となっています。男女別では、男性は16件の減少となっており、女性は8件の増加となっています。

令和3年度11月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		11月	累計	11月	累計	11月	累計	11月	累計	
就 業 中	植木・樹木の剪定等	6(8)	47(53)	6(8)	47(52)	0(0)	0(1)	75	75	
	除草作業	2(2)	27(21)	2(2)	24(17)	0(0)	3(4)	70	75	
	屋内・屋外清掃作業	2(1)	20(27)	1(1)	8(13)	1(0)	12(14)	80	74	
	その他	3(0)	23(22)	3(0)	14(17)	0(0)	9(5)	77	76	
	計	13(11)	117(123)	12(11)	93(99)	1(0)	24(24)	75	75	
就 業 途 上	交 通 手 段	徒歩	3(1)	13(13)	1(0)	4(6)	2(1)	9(7)	77	78
		自転車	2(3)	14(21)	0(3)	5(15)	2(0)	9(6)	77	79
		バイク	0(2)	8(6)	0(1)	4(3)	0(1)	4(3)	—	73
		自動車	3(0)	5(2)	1(0)	3(2)	2(0)	2(0)	73	73
		計	8(6)	40(42)	2(4)	16(26)	6(2)	24(16)	76	76
合 計		21(17)	157(165)	14(15)	109(125)	7(2)	48(40)	75	75	

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います（平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済）。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

9月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・梱包等の職業」3件、「運搬の職業」「その他のサービスの職業」「家庭生活支援サービスの職業」2件「清掃の職業」「建築・土木・測量技術者」がそれぞれ1件あり、合計11件でした。前年同月の10件と比較して同数となっています。

9月までの累計で比較してみると、昨年度の49件と比して、12件の増加となっています。

また、男女別では、男性は31件で3件の増加となっており、女性は30件で9件の増加となっています。

なお、9月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度9月分

仕事の型(中分類)	中分類コード	事故数(件)				男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計
建築・土木・測量技術者	9	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	74	74
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	—	78
商品販売の職業	32	0 (1)	3 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	—	67
販売類似の職業	33	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
家庭生活支援サービスの職業	35	2 (0)	9 (2)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	8 (2)	69	70		
介護サービスの職業	36	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	—	—		
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—		
飲食物調理の職業	39	0 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (1)	—	74		
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	—	78		
その他のサービスの職業	42	2 (0)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	76	75		
農業の職業	46	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	69		
製品製造・加工処理の職業	54	0 (1)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (4)	—	73		
機械組立の職業	57	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	78		
自動車運転の職業	66	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	66		
採掘の職業	74	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	70		
運搬の職業	75	2 (0)	4 (2)	2 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	73	70		
清掃の業務	76	1 (3)	9 (10)	1 (3)	4 (6)	0 (0)	5 (4)	74	73		
包装の職業	77	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	—	75		
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (2)	16 (21)	3 (1)	13 (16)	0 (1)	3 (5)	78	74		
計	—	11 (8)	61 (49)	8 (5)	31 (28)	3 (3)	30 (21)	74	71		

()は令和2年度同月の発生件数

(4) シルバー派遣事業における通勤災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

上半期(4月~9月)は合計17件であり、昨年度上半期の17件と比して同数となっています。

通勤の型別では、「転倒」が昨年度の10件と比して13件と3件の増加となっており、「交通事故(道路)」が昨年度の7件と比して4件と3件の減少となっております。

男女別の内訳は男性が3件で4件の減少となっており、女性が14件で4件の増加となっています。なお、4月に死亡事故は1件(転落)ありました。

令和3年度上半期分（4月～9月分）

	事故の型	事故数(件)	男性(件)	女性(件)	平均年齢(歳)
通勤災害	転倒	13 (10)	2 (3)	11 (7)	72 (75)
	交通事故(道路)	4 (7)	1 (4)	3 (3)	70 (76)
	計	17 (17)	3 (7)	14 (10)	72 (75)

() は令和2年度上半期の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

★ 2021年度年末年始無災害運動標語 ★
年末年始も 安全作業 あなたが無事故の キーパーソン

年末年始は、多くの仕事場で機械・設備の清掃、点検、故障修理等の作業が行われます。これらは、日常の作業と異なる非定常作業となることから、年末年始は労働災害が起きやすくなる傾向にあります。基本に立ち返り、安全作業で災害ゼロを実現しましょう。

● 職場の危険は作業前にしっかり確認 ●

作業開始前には、ミーティング等を行い、作業の内容や分担など、詳細を確認します。作業のポイント等はメモして、記憶にとどめましょう。また、事前の危険予知活動の結果から危険なポイントについても話し合い、安全意識を高め合いましょう。

▲ 安全の基本は指差し呼称 ▼

ミーティングで話し合った危険なポイントなど、作業のなかで確認すべき箇所については、声を出して「ヨシ！」と指差し呼称をしましょう。

◆ 不安全行動はしない、させない見かけたら、必ず注意 ◆

自分が不安全行動をしないのはもちろん、職場の同僚等が不安全行動をしていたら、見過ごさず、声をかけましょう。つい不安全な行動をしてしまわないよう、事前にできる対策を考えることが大切です。

(※ 出所 中央労働災害防止協会 「安全衛生かべしんぶん」より抜粋)

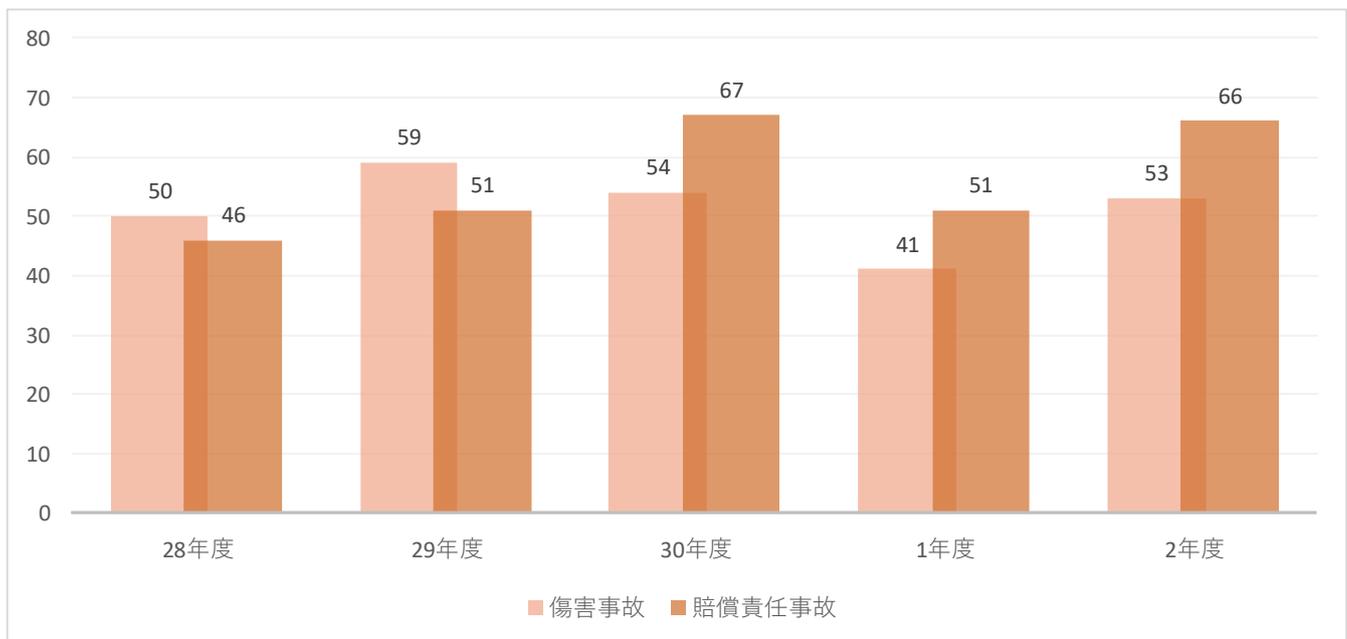
★ 安 全 リ シ ー ★

滋賀県における安全就業の取組み

1 滋賀県シルバー人材センター連合会の概要（令和3年3月31日現在）

センター数	19 団体
会 員 数	12,538 人
受 注 金 額	5,035,213,085 円（うち派遣 1,469,498,921 円）
就業延べ人員	1,017,182 人日（うち派遣 279,571 人日）
粗 入 会 率	2.8%
就 業 率	80.3%

2 過去5年間における県内シルバー人材センターの事故発生状況（シルバー保険対象事故）



うち重篤事故（入院6ヶ月以上事故、死亡事故）

平成28年度1件、平成29年度2件、平成30年度1件の計4件発生。

3 過去5年間における主な安全就業の取組み

(1) 安全大会

年2回程度、安全・適正就業推進会議として、各センター会員、安全担当理事、安全担当職員を対象に開催している。事故防止に繋がる講演のほか、分科会、安全標語の表彰を行っている。令和2年度はコロナ禍のため、夏の開催を見送り、2月にオンラインにて開催した。参加者は各センター会議室または自宅より会議に参加いただき、例年80名程度の参加のところ、180名の参加があった。令和3年度の夏もオンラインにて開催した。

(2) 安全宣言

重篤事故が2件続いたことを受け、平成30年4月に開催された安全就業推進大会にて、安全宣言を行い、会員役職員一同の安全意識の向上を図った。

(3) 安全就業推進委員会

19 センター安全担当職員各1名、連合本部理事1名、連合本部事務局3名の23名で構成され、安全就業強化月間である7月頃に開催している。内容は、県内の事故発生状況の報告、今後の安全対策について検討、安全標語表彰作品の決定、安全に関する情報交換等を行っている。令和2年度よりオンラインにて開催している。

(4) 県内統一の作業前後のチェックシート

平成30年度安全就業推進委員会にて、県内統一の様式を作成することを決定し、除草・剪定・清掃作業に従事する方には就業毎にチェックシートを記載していただくこととした。これまで各センター独自に作成していたチェックシートを参考に、県内統一で必要な項目を網羅した様式を作成。チェック事項は必要に応じて各センター独自に項目を追加することも可としている。

(5) 安全就業作業マニュアル

平成30年度安全就業推進委員会にて、滋賀県オリジナルで作成することを決定。委員から作成メンバーを選出し、より具体的な内容で、平成30年度より着手し、令和元年度完成。内容は、健康管理等の共通項目、除草・剪定・清掃作業について作業前、作業中、作業後の取組みや服装、使用する道具等について収録。現場へ持ち運びしやすいA5サイズで、イラストを多用したフルカラーとすることで見やすさに配慮した冊子となった。県内全会員への配布を行い、安全意識の向上を図った。

安全宣言

滋賀県のすべてのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」に基づき、組織一丸となって、事故ゼロを目指し、安全就業に努めることをここに宣言します

1. 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しません
1. 事故の防止のために必要な知識・技能の情報を共有・活用します
1. 事故の情報を共有・分析し再発防止を徹底します
1. 会員は自ら日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます
1. 会員は就業開始にあたっては自ら安全に作業するための確認を行います
1. 会員一人ひとりがシルバー人材センターを代表していることを自覚し、責任ある行動をとります

平成30年4月26日
公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会



作業前後のチェックシート (除草)

作業日 年 月 日

会員番号 _____

氏 名 _____

作業場所 _____

下記の健康チェック・作業前のチェックを行ってから作業を始めましょう。

健康チェック

1	前日の睡眠時間は、十分とりましたか。	はい・いいえ
2	本日の気分はどうですか。	良い・普通・悪い
3	身体に悪い所、調子が悪い所はありませんか。	あり・なし
4	十分な量の水分は持ってきていますか。	はい・いいえ

作業前のチェック事項

1	発注者へのあいさつ及び業務内容の確認はしましたか。	
2	適切な服装の着用、安全具の装着は出来ていますか。 (口巻そで見スポン 口ヘルメット・帽子 口巻 口保護メガネ)	
3	道具・機具の始末前点検はしましたか。	
4	事務局（現場）からの注意事項等の情報共有を行いましたか。	
5	現場の安全確認はしましたか。 (口巻心の有無 口ハチ 口除物心の有無 口斜風、設法等)	
6	周辺の安全確認はしましたか。 (口巻所 口巻ガラス 口巻行人)	
7	準備体操はしましたか。	
8	飛び石対策、断線対策はしましたか。	
9	燃料の置く位置は適切ですか。	
10	作業中の指板等は設置しましたか。	

★注意事項★

ナイロンロープの使用禁止

作業前のチェックがすべて完了してから、作業に入ります。作業が終わったら、下記のチェックをしましょう。

作業後のチェック事項

1	発注内容の作業は終了しましたか。	
2	作業現場、周辺への残置がないか確認しましたか。	
3	発注者へ作業完了の確認は伝えましたか。	

表に貼らなくても大丈夫です。表を付けて帰らしましょう。

令和元年・2年度滋賀県シルバー人材センター安全標語
気を抜くな 慣れと危険は 敵一直

(6) 安全標語

2年に1度、滋賀県シルバー人材センター安全就業推進標語として、会員役職員を対象に募集を行い、安全委員会にて最優秀作品1点、佳作3点を決定している。安全大会にて表彰を行い、連合会事務所内に啓発ポスターを掲示、各センター安全だより等に記載してもらう等、安全意識の啓発を行っている。

令和3・4年度滋賀県シルバー人材センター
安全就業推進標語

「あぶないよ 言える勇気と 聞く心」

(7) 滋賀県シルバー人材センター連合保険制度

滋賀県ではシルバー人材センター団体傷害保険及び賠償責任保険について、連合単位で加入をしている。

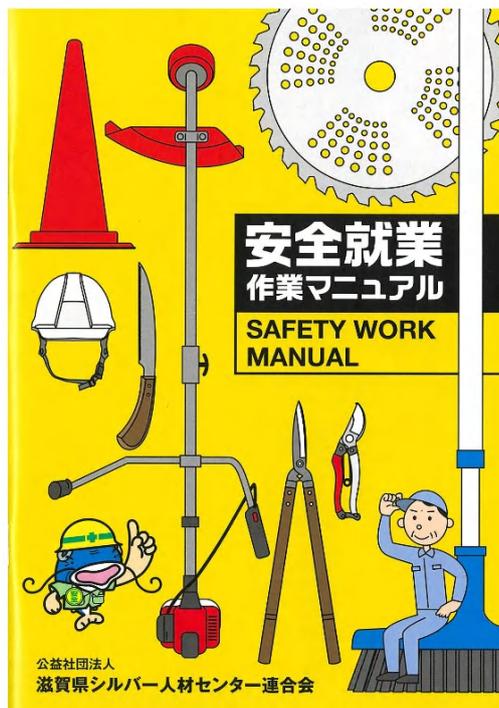
(8) 毎月の事故報告一覧の情報提供

連合単位で保険に加入しているため、保険対象、保険対象外に関わらず、すべての事故を連合会へ報告いただいております。毎月集計し、フィードバックすることで、事故防止に活用いただいております。

4 5年間の取組みの結果、今後の課題

過去5年で重篤事故が4件発生し、総事故件数もおおよそ横ばいで推移している。残念ながら安全対策が十分であったとはいえないのが現状である。

事故の内容としては、傷害事故では蜂刺され、転倒事故、転落事故が大きな割合を占めており、賠償責任事故では除草作業中の飛石事故及び配線等への接触事故が7割程度を占めている。今後は、現場での安全対策の充実や安全意識の向上を図るだけでなく、見積時や作業前の確認といった、事前の危険因子の発見・排除や、事故後の分析・対策の充実による同様事故の防止を意識した取組みを強化していく必要があると考える。安全委員会を中心に、これまでの取組みをより一層強化するとともに、新たな安全対策を検討していき、会員の皆さんが安心して就業できるような環境づくりを目指していきたい。



★★★滋賀県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。★★★

安全関係の頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子です。

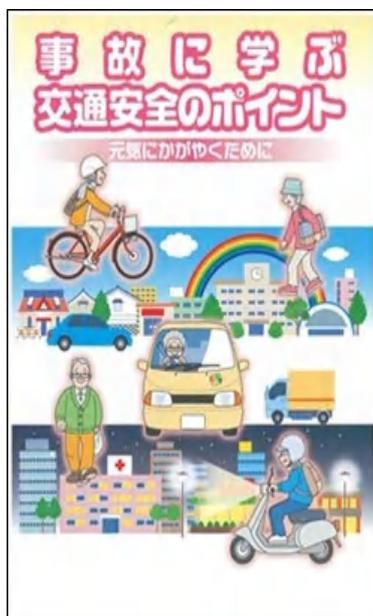
A4判 32頁 (10部以上からの販売)
価格 税込 184円 (本体 168円+税)、送料実費

会員必携安全就業ハンドブック



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブックです。
変形B7判 (縦 12.5cm×横 7.6cm) 44ページ
○全国版 (10部以上からの販売)
価格 税込 136円 (本体 124円+税)、送料実費

事故に学ぶ交通安全のポイント



交通事故の被害者にも加害者にもならず、いつまでも健康で”生涯現役”として活躍していただくため、事故事例に基づき、全カラー版でこの冊子を作成しました。

A4判 20頁 (10部以上からの販売)
価格 税込 220円 (本体 200円+税)、送料実費

この3冊は、安全就業の指針を示していますので、会員の皆さまお一人おひとりに、ぜひお持ちいただきたい頒布物です。

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記した FAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

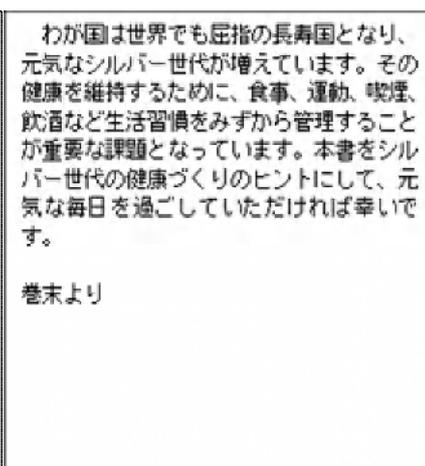
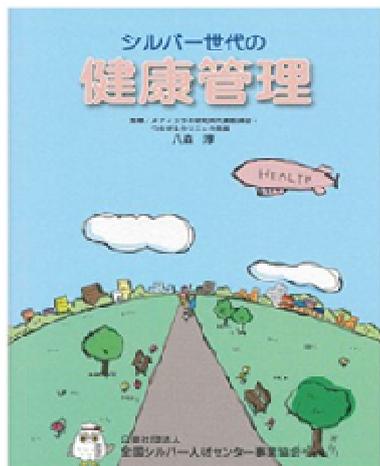
★仕様・価格等、予告なく変更する場合があります。

編集後記

今年も残りわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症は変異株が現れるものの、ちょっと落ち着いている感じで、街の人出も増えていきますし、年末年始には2年ぶりの家族との再会を予定、楽しみにされている方も多いことと思います。先日のネットに「年末清掃中の転落注意 12月は搬送者2～3倍 脚立やはしごを使った高所作業を極力控え、可能なら他人に依頼するよう消費者庁が呼び掛けている」との記事が出ていました。お家での年末の大掃除、される方も多いと思いますが、脚立や梯子を使う高所作業がどうしても必要な場合は丈夫な構造のものを安定したところに設置し、くれぐれも転落などしないように気をつけてください。もうすぐ年末年始のお休みがやってきます。年末最後の就業が終わり帰宅するまで事故を起こすことがないよう気を引き締めて、その後は「楽しい年末年始」を過ごしていただき、年明けにはみんな元気にまた働くことができますよう、願っています。(松山)

現在はコロナが落ち着いているところですが、新たな株が見つかるなど依然として先が不透明な日々が続いています。第5波のとき、私の幼なじみがコロナに感染しました。38度5分の発熱がありすぐに検査を受け自宅で二日ほど待機をし、息苦しいなどの自覚症状はなかったものの酸素濃度を測ると93%（中等症）と低く危険な状態でした。区から迎えの車が来てホテル療養となり、緊急性があるということで翌日に入院しました。その後約2週間で退院し、現在は幸いにも後遺症は出ていないとのこと。医療逼迫の中、適切な治療が受けられ大事に至らなかったことに只々感謝しています。発症当時、一人暮らしの彼から「コロナかもしれない」と私を含む仲間数人に連絡があり、私達は彼がどうになってしまうのか不安で仕方がなく、お互いに何の打合せもないままその日のうちにそれぞれが差し入れを持っていくなど(勿論接触は避け玄関前に置くだけ)、常に状況を確認し勇気付けていました。普段は冗談しか話さない仲間ですが、会えなくても言葉を掛け合うことで心を支えることに徹しました。彼は病床で死の恐怖とともに仲間の大切さを感じ涙が止まらなかったそうです。本当に無事でよかったですし、私自身も身近な人の大切さを改めて感じました。そばにいることは当たり前ではなく、いつどうなるのかわからないのです。伝えたい事を伝えられないまま後から後悔などしたくありません。家族や会社の上司、先輩、後輩、同期、会員同士、友人関係など、いつも一緒にいる周りの方々に「ありがとう」「ごめんなさい」など、心で思うだけではなく気持ちを声に出して伝えてみませんか。(高木)

シルバー世代の健康管理



A5判40ページ 2009(平成21)年2月発行 以降、増刷対応
(10部以上からの販売)
価格 293円(税込)、送料実費

